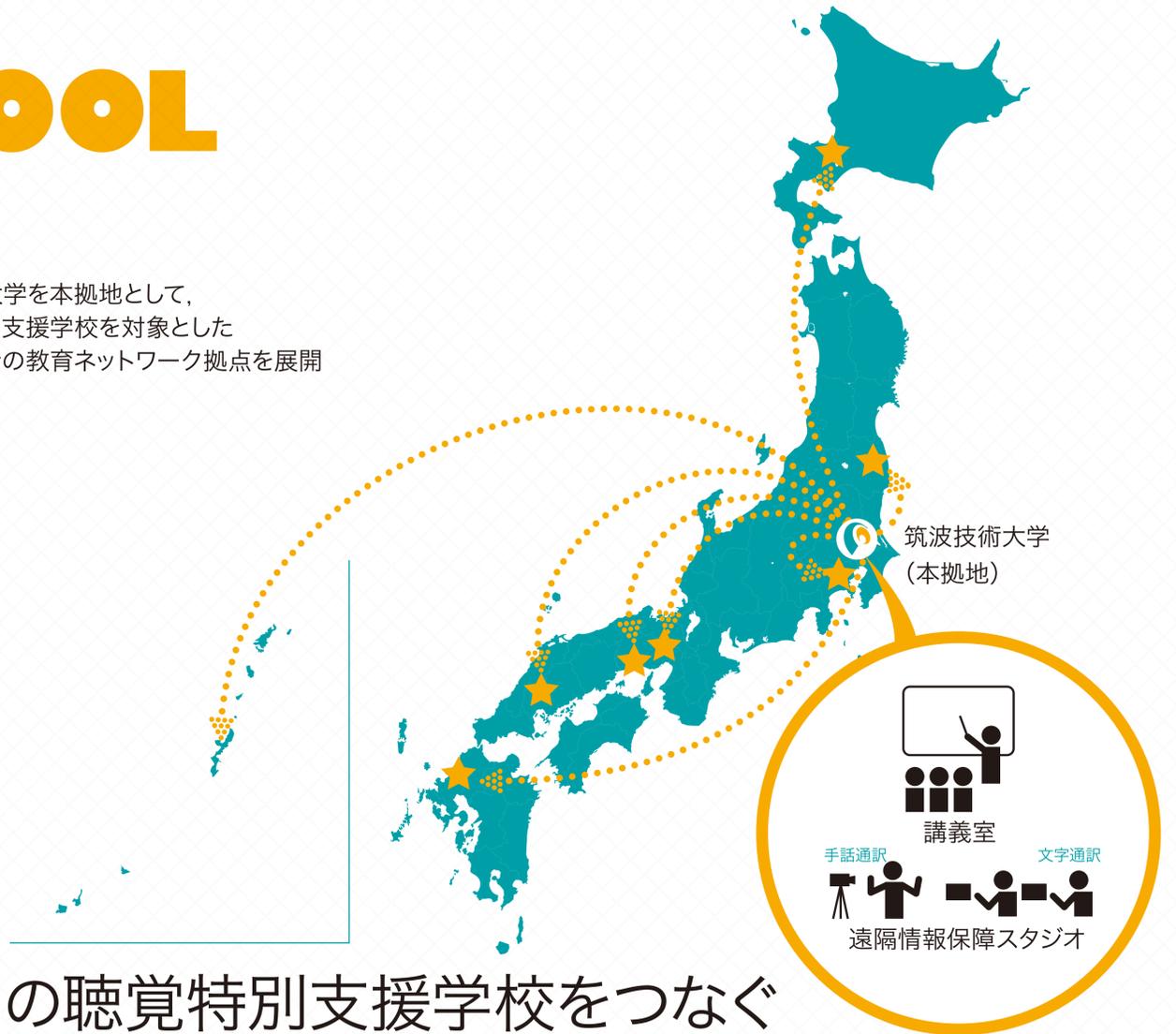


高大連携プロジェクト

本プロジェクトは、筑波技術大学がこれまでに培ってきた聴覚障害者への専門的教育環境・教育資産を活かし、大学と特別支援学校との組織間連携における協調型教育プログラムを実践するための教育拠点の形成を目指しています。

筑波技術大学では、全国的な聴覚障害者コミュニティを一つの地域として捉え、その活性化のために教育資源を蓄積し還元していく取り組みをしています。

筑波技術大学を本拠地として、全国の特別支援学校を対象とした聴覚障害者の教育ネットワーク拠点を展開



全国の聴覚特別支援学校をつなぐ多地点共有通信システムの構築

本システムは、多地点通信機能、および遠隔情報保障スタジオとの接続機能を持つ本拠地システム（本学側）と、それに接続するための複数の拠点システム（特別支援学校側）から構成されています。

概要

聴覚特別支援学校においては、在学生の数が少なく、各都道府県に数校しかないことから、普通校に比べて同学年の生徒同士が交流する機会が少ないと思われます。筑波技術大学では高大連携活動の一環として全国の聴覚特別支援学校を遠隔通信で結び、本学を交えてディスカッションするためのシステムを構築しました。これにより、手話・字幕といった情報保障や画像等の様々な情報を同時に、しかも多地点で効率よく共有できます。

システムと機器構成

本システムはテレビ会議システムを中心としており、様々なネットワーク環境に対応しています。ファイアウォールやフィルタリングによる通信の制限や、接続回線の種別による通信速度の限界といった問題に対し、本システムではWiMAX ルータを使用することで、特別支援学校のネットワークに持ち込みの機器を接続しない方法をとりました。

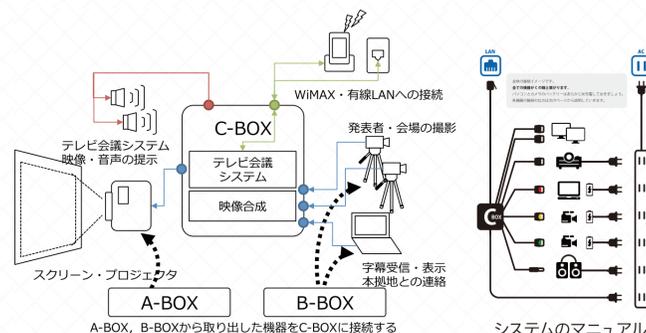
主な機能と機器構成：

多地点通信機能 (SONY PCS-XG100S)：本拠地システムを中心として、インターネットを通して拠点システムを複数台接続し、通信が可能となります。

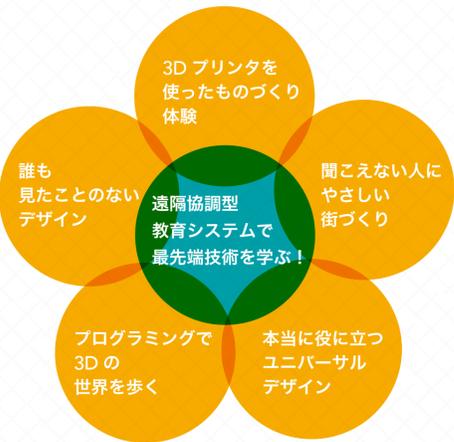
情報保障受信機能 (SONYPCS-XG80)：学内ネットワークを通して本拠地システムと遠隔情報保障スタジオとを接続し、手話通訳映像や文字通訳（字幕）を受信。

映像合成機能 (IDK ICP-9401)：多地点通信に参加している各拠点のカメラ映像やプレゼンテーションや文字通訳に使用される PC の画面、手話通訳映像などを合成します。

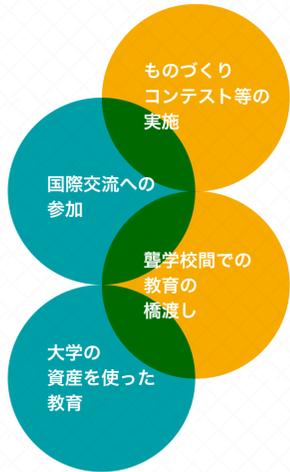
拠点システムについては、特別な知識を持たない人にも機器の設定が簡単にできるように、接続機器とケーブルには色別のマーキングと接続機器名のタグ付けをしています。



UNIVERSITY HIGH SCHOOL CITY



+



+

